



2019年4月19日

各位

会社名 神田通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神部 雅人
 (JASDAQ・コード番号: 1992)
 問合せ先 取締役管理本部長 高橋 昌弘
 電話番号 (03) 3252-7731

繰延税金資産の計上、業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算において下記のとおり繰延税金資産を計上し、2018年5月14日に公表いたしました業績予想ならびに配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することに伴って、法人税等調整額を△88百万円(△は利益)計上することから、親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想数値を超過する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,500	百万円 120	百万円 170	百万円 100	124円78銭
今回発表予想 (B)	6,220	200	270	280	349円40銭
増減額 (B-A)	△280	80	100	180	
増減率 (%)	△4.3	66.7	58.8	180.0	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	百万円 5,850	百万円 159	百万円 227	百万円 151	188円40銭

修正の理由

売上高につきましては、主力事業である情報通信事業がほぼ計画通り推移し、照明制御事業は計画を下回って推移いたしました。また、不動産賃貸事業は計画通り推移する見込みとなります。利益面につきましては、営業利益は予定しておりました設備投資等に係る費用が2020年3月期になったことにより、前回予想数値を80百万円上回る見込みとなりました。また親会社株主に帰属する当期純利益は「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり、法人税等調整額を計上することから1億80百万円の増加となる見込みとなりました。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2018年5月14日発表)	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 50 00	円 銭 50 00
今回修正予想	—	—	—	60 00	60 00
当期実績	—	0 00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	0 00	—	50 00	50 00

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに安定的な配当を継続することを基本方針としております。

つきましては、2019年3月期における期末配当金予想は、上記方針に基づき、かつ、今期の業績進捗状況を踏まえ、総合的に勘案した結果、前回予想に対して10円増配の1株当たり普通配当60円とさせていただきます。

なお、本件につきましては、本年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定です。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上